

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	M.A	学部・学科	国際教養学部
学年	4年	派遣国	フランス
派遣大学	リヨン第三大学		
期間	2022年 8月 16日～ 2023年 8月 7日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <input checked="" type="checkbox"/> 学外の学生寮 / アパート / その他 ( )					
部屋	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ( )					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	○	冷暖房	○ (暖房のみ)	冷蔵庫	○
滞在費	約 (58,500) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃 ※CAFという住宅補助があったため(1ヶ月 180€)、元々85,500円だった家賃が 58,500円まで減額されていました。					
移動	徒歩で、約1分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費 ※1ユーロ=150円で計算しています

項目	金額	内訳
食費	30,000円	
学用品購入費	0円	パソコンがメインで日本から持参したものがあつたので特に必要ありませんでした。
交通費	3,750円	交通カード
交際費	40,000円	外食やイベント等
その他	円	
<b>合計</b>	<b>73,750円</b>	*概算で記録してください。



## 【学業編】

### 1. 大学情報

大学	リヨン第三大学	所在地	1 avenue des Frères Lumières - Lyon8e
最寄空港	lyon Aéroport Saint-Exupéry	空港からの距離	50 分
空港⇄大学	(Lycée Colbert 駅から Gare Part-Dieu 駅までトラム T4 ラインで移動。その後、Gare Part-Dieu から空港直通のトラムで移動。) *移動手段		
学生数	27,835	留学生数	4,164
学部	法学部 言語学部 文学部 哲学部 経営学部  *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	法学部  *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

## 2. 週間スケジュール

① ( 9 )月～( 12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		8:00-12:00 FLE(フランス語)	11:00-12:00 French Civilization (フランス文化)		
午後	16:30-19:00 European Union (EU 論)		14:00-16:30 Comparative Constitutional Law (比較憲法論)	14:30-20:00 Introduction to international Criminal Law (国際刑事法) (2週間に1回)	

② ( 1 )月～( 5 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	11:00-12:00 Initiation à la culture française (フランス文化入門)			オンライン自習 型授業 Méthodologie Juridique (方法学論)	8:00-11:00 Histoire et Anthropologie de la guerre (戦争の歴史と人類学)
午後	12:00-13:00 大学の体育プログラム (Pilates)	12:00-14:00 FLE (フランス語)  18:00-21:00 Institution et Relation Internationale (国際機関・国際関係論)	13:00-14:00 Anglais traduction (英語翻訳)	12:00-13:00 大学の体育プログラム (Pilates)  14:00-17:00 Introduction au Droit Française (フランス法学入門)	

### 3. 履修内容

科目	FLE(フランス語)		
履修期間	1年間	単位数	秋学期:5 春学期:5
授業内容／形態	少人数授業 4技能に特化した授業。授業内で長文読解やプレゼンを行った。		
成績	秋学期:12.5/20 春学期:14.4/20		
YCU 振替予定	科目	専門外国語 B(フランス語)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	European Union (EU 論)		
履修期間	秋学期	単位数	6
授業内容／形態	少人数授業 EU の歴史や EU が直面する問題等についての講義。また、グループ活動では環境問題をテーマにした模擬 EU やプレゼンを行った。		
成績	10.5/20		
YCU 振替予定	科目	ヨーロッパ社会論	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	French Civilization (フランス文化)		
履修期間	秋学期	単位数	2
授業内容／形態	講義型授業 フランスの歴史や政治、文化等について、幅広い分野についての基礎知識を取得することを目的とした授業。		
成績	10.5/20		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Comparative Constitutional Law (比較憲法論)		
履修期間	秋学期	単位数	6
授業内容／形態	少人数授業 アメリカ及びヨーロッパ各国を中心にそれらの憲法の歴史や特性の違いについての講義。		
成績	10/20		
YCU 振替予定	科目	特講 (国際教養学部留学科目)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Introduction to international Criminal Law (国際刑事法)		
履修期間	秋学期	単位数	6
授業内容／形態	少人数授業 過去の判例等を用いて国際刑事法について基礎知識を身につけることを目的とした授業。授業評価は模擬裁判とエッセイ。模擬裁判では、フィリピンの麻薬戦争を元に行った。		
成績	14/20		
YCU 振替予定	科目	特講 (国際教養学部留学科目)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Initiation à la culture française (フランス文化入門)		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	講義型授業 秋学期に受講した French Civilization (フランス文化)とほぼ同じ授業内容。フランス語で受講。		
成績	13.5/20		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Institution et Relation International (国際機関・国際関係論)		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	講義型授業 国際関係論におけるリベラリズムやリベラリズム基礎的な理論と、それを元にして現在までの国際情勢について学んだ。また、基本的な国際人権法についての講義も行われた。		
成績	15/20		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Anglais traduction (英語翻訳)		
履修期間	春学期	単位数	5
授業内容／形態	少人数授業 毎授業で 200 語ほどのフランス語の文書を英語に翻訳。手紙やニュースなど、様々な形態の文書を翻訳。		
成績	10/20		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Méthodologie Juridique (方法学論) / 必修		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	オンライン授業 フランスの法律の基礎的な考え方や法律用語、判決の読み方などを知るための授業。毎週ポータルに授業ファイルがアップロードされ、提示された課題を提出。		
成績	10/20		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Introduction au Droit Française (フランス法学入門) / 必修		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	留学生のための講義型授業 フランスの司法制度について学ぶ。		
成績	10/20		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Histoire et Anthropologie de la guerre (戦争の歴史と人類学)		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	講義型授業 生物学や神話、イスラームやキリスト教といったような、様々な観点から見た戦争の概念について考える。そこから、当時の時代の戦争のあり方、戦争法について学ぶ。		
成績	10/20		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	A.M	学部・学科	国際教養学部
学 年	4	派遣国	フランス
派遣大学	リヨン第三大学		
期 間	2022年 8 月 17 日～ 2023年 8 月 7 日		
プログラム	交換留学		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	FLE (フランス語)
講義内容	レベルごとに振り分けられ、4 技能に特化した授業を行う。
科目	European Union (EU 論)
講義内容	EU の歴史や EU が直面する問題等についての講義。また、グループ活動では環境問題をテーマにした模擬 EU やプレゼンを行った。
科目	French Civilization (フランス文化)
講義内容	フランスの歴史や政治、文化等について、幅広い分野についての基礎知識を取得することを目的とした授業。
科目	Comparative Constitutional Law (比較憲法論)
講義内容	アメリカ及びヨーロッパ各国を中心に世界各国の憲法の歴史や特性の違いについての講義。
科目	introduction to international Criminal Law
講義内容	過去の判例等を用いて国際刑事法についての基礎知識を身につけることを目的とした授業。授業評価は模擬裁判とエッセイ。模擬裁判では、フィリピンの麻薬戦争を題材にして行った。
科目	initiation à la culture française (フランス文化入門)
講義内容	French Civilization と同じ授業内容。フランス語で受講。
科目	Institution et Relation international

<b>講義内容</b>	国際関係論におけるリベラリズムやリベラリズム基礎的な理論と、それを元にして現在までの国際情勢について学んだ。また、基本的な国際人権法についての講義も行われた。
<b>科目</b>	Anglais Traduction (英語翻訳)
<b>講義内容</b>	毎授業、200語程度のフランス語文書を英語に翻訳。手紙やニュースなど、様々な形態の文書を翻訳。
<b>科目</b>	Méthodologie Juridique (方法学論)
<b>講義内容</b>	フランスの法律の基礎的な考え方や法律用語、判決の読み方などを知るための授業。毎週ポータルに授業ファイルがアップロードされ、提示された課題を提出。
<b>科目</b>	Introduction au Droit Française (フランス法学入門)
<b>講義内容</b>	留学生のための講義型授業 フランスの司法制度について学ぶ。
<b>科目</b>	Histoire et Anthropologie de la guerre (戦争の歴史と人類学)
<b>講義内容</b>	生物学や神話、イスラームやキリスト教といったような、様々な観点から見た戦争の概念について考える。そこから、当時の時代の戦争のあり方、戦争法について学ぶ。

## <総括>

### (1) 全体的な感想 \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

リオンはとても美しい街で、その歴史や文化、そして美食で有名なため、一年中国内外から多くの観光客が訪れてきます。そのような美しいリオンで暮らし、日常生活で友人と旧市街の古い街並みを散策したり、様々な場所を訪れたり、ローヌ川・ソーヌ川沿いを散歩したりすることができたのは私にとって非常に幸せな時間でした。留学先で出会った新しい人々との交流も、私の留学生活の大きなハイライトです。特に、フランス語で授業を受けていた春学期には、お互い母国語でない言語で授業を受けることの大変さを共有し合い、互いに励まし合いながら頑張ることのできる友人もできました。留学で家族や友人と離れて日本と全く違う、新しい環境に身を置いたことで、今まで気づくことのなかった自分の性格を発見することができたり、様々な人と出会うことができたりと、フランスのリオンで過ごしたこの一年間は私の人生にとって貴重な時間でした。

まず、新しい環境であっても簡単に馴染むことができ、異文化はあまり問題なく受け入れることができるという自分の新たな一面を発見することができました。実際、渡航してから異文化の違いを感じてもネガティブなカルチャーショックは感じたことがなく、日本とは全く違う環境に興味をそそられました。そのため、ホームシックになることもあまりありませんでした。ホームシックにならないことに対して周りから驚かれることがよくありましたが、自分の長所の一部であると思うようになりました。

このように得たものがある一方で、困難も経験しました。自分にとって1番大変だったのは言語です。幼少期から学習してきた英語とは違い、フランス語は学習歴が3年と短く、留学前にどんなに学習してもやはり限界があるように感じていました。実際、フランスに来た初めの1ヶ月ほどは、スーパーや他の店で言われたことを上手く聞き取れずに何度も聞き返したり、相手に迷惑をかけたくないという理由でフランス語がまだあまり話せないと相手に伝えるような場面が多々あり、スーパーに行くだけでも緊張してしまったりすることがありました。春学期にはフランス語で授業を受けられるようにすることが自分のゴールであったため、大きなプレッシャーを感じていました。しかし、フランス人の友人に日常場面で使うようなフレーズを教わったり、家にいる間はフランス語のラジオを流したり、フランス語の動画をたくさん観たりと、努力をすることで日々フランス語の上達を実感できるようになりました。日常生活で問題なくフランス語を使えるようになったものの、やはり授業になると専門的な用語を聞き取れず、授業の内容の理解度があやふやになってしまうこともありました。しかし、友人とノートを共有しあったり、わからないことがあればすぐにそれを解決したりすることで、専門的なフランス語の語彙力も上げることができました。実際、留学の後半は様々なテーマについてディスカッションができるようになるなど、フランス語をかなり上達させることができました。今後、留学中に得た語学力を更に上達させることができるように、日本でも頑張りたいです。

留学で得た友人や経験は自分にとってかけがえのないものです。また、今後の自分の人生で新たな目標設定をすることができ、自分にとっては今後のモチベーションに繋がるような経験になりました。今後は留学で得たことを活かし、言語の勉強を続け、新たな目標に向かって勉強やインターンなどに励みたいと思います。



(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

留学を経験して、語学力だけでなく、高いコミュニケーション能力やトラブルに落ち着いて対応できるような問題解決力が身につき、将来の大きな目標を設定することができました。

私の留学した大学は留学生の数が非常に多かったため、現地の学生だけではなく、様々な国の留学生と出会う機会があり、そのおかげで初対面であっても話題を提供できるようなコミュニケーション能力を得ることができました。留学後は、留学中のように様々な人に出会いたいという気持ちが強く、大学での留学生のチューター活動や留学生用のイベントにも積極的に参加し、留学で得たコミュニケーション能力を活かしたいと考えています。

さらに、フランスの大学の雰囲気や授業形態等を知ることができたことで、フランスの大学院に進学し、卒業後はフランスで就職するという大きな目標ができました。留学中に得た語学力を土台に、今後も更にフランス語を上達させ、目標に向かって頑張りたいと思います。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学前は外国で暮らすことや、様々な国の人に出会うことのできる環境でこれから生活することに対して楽しみな気持ちがある一方で不安なこともたくさんあると思います。私が留学前に特に不安だったのが、言語問題とカルチャーショックによって生活しづらくなってしまったり、その国が嫌になってしまったりするのではないかというようなことでした。そこで、これらを元にしてアドバイスをしたいと思います。

言語に関して、初めは完璧に話せなくても伝わればいいという軽い気持ちでいることが大切です。大学で友人と会話したり、講義を受けたり、日常生活の小さな場面でその言語を活用していれば言語は自然に上達するものです。

次にカルチャーショックについて、文化の違いを感じたときの考え方は人によって様々ありますが、私は「この国ではこうなのか」というようにその土地の文化や慣習を認めるようにしていました。違いをポジティブに捉えることで、ネガティブになってホームシックになってしまうことを避けるようにしていました。

留学は世界各国の人に出会うことのできる素晴らしい経験です。大変な経験もある一方、多くのことを得られます。